

□議員名：山田伸幸

1 定住促進について

論点	若い世代に向けた定住促進の取り組みには、具体的にどういった施策を用意しているのか。
回答	若い世代に向けた対策として、婚活事業、総合的な子育てを支援する新しいセンターの設置、乳幼児医療費助成事業の拡大などに取り組んでいく。

論点	定住促進のためにつくられたプロモーションビデオの評価はどうか。
回答	山陽小野田市に関心を持っていただき、定住促進へとつなげていくことが目的である。全国移住ナビの再生ランキングでは20位となっている。

論点	ビデオを見た人が移住したいという気持ちにさせることができたか。ビデオを見て移住したいという相談があったのか。
回答	相談件数は把握していない。

2 地域通貨について

論点	地域通貨は、高齢者福祉への波及や、地域経済の循環に対する期待が多い。新年度予算はわずかしか計上されておらず、落胆するものだ。
回答	介護支援ボランティア、いきいき介護サポーター事業におけるボランティアポイントと地域通貨を交換できるものポイント交換することにより、市内の商業、サービス業の振興とボランティア意欲の向上を図りたい。
論点	地域通貨を住宅リフォーム助成制度へ波及ができなかったのはなぜか。
回答	住宅リフォーム助成制度の活用については、地域通貨事業の拡大のため有効な手法の一つと考えており、引き続き研究をしていきたい。

3 住民合意について

論点	白井市長は、重要な決定をする前には、市民説明会などをおこない、市民の意見を聞いてきた。大学の公立化では、なぜ市民との意見交換会をしないのか。
回答	大学の公立化は、市の活性化に重要な役割を果たす事業であり、広報で知らせてきた。事業の重要性から市民へ説明し、意見を聞きたいと考えているが、学校法人との間で調整が必要な事項があり、開催できていない。調整が終了し、市民に話しができる段階になれば、説明会を開催したい。

論点	埴生地区の公共施設再編では、小学校と中学校の連携校が打ち出されたが、学校のPTA総会で反対の意思表示をしている。合意をはかれたのか。
回答	埴生小、埴生中、津布田小の3校に赴き、説明会を開いた。保護者の方々には、参観日、PTA役員会の日に開催した。参加数は、埴生小9人、埴生中25人、津布田小9人で、PTAの代表者のほとんどが参加して、教育委員会の説明に対する質問、計画に対する要望であり、反対の声は全くなく、理解されたと受けとめている。

論点	公共交通について、小野田地区で検討されていたゾーンバス計画が具体化されないのはなぜか。
回答	ゾーン計画は、前回の連携計画にあった。今回は、事業を9つほど新しい交通網計画の中に含んでいる。路線バスの再編の中で、言葉は入っていないがゾーンあるいは放射線型、そして循環バスなどを検討しながら、鋭意検討していきたい。